

令和元年度 「学校アンケート」 結果報告

文京区立林町小学校

校庭の桜の芽が膨らみ、目前に迫った春の準備を整えています。

保護者の皆様には、日頃より学校の教育活動にご理解ご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、年度末に際し、本年度の学校アンケートの結果をお届けいたします。アンケート結果を受け止め、来年度の教育活動に生かしてまいります。どうぞよろしく願いいたします。

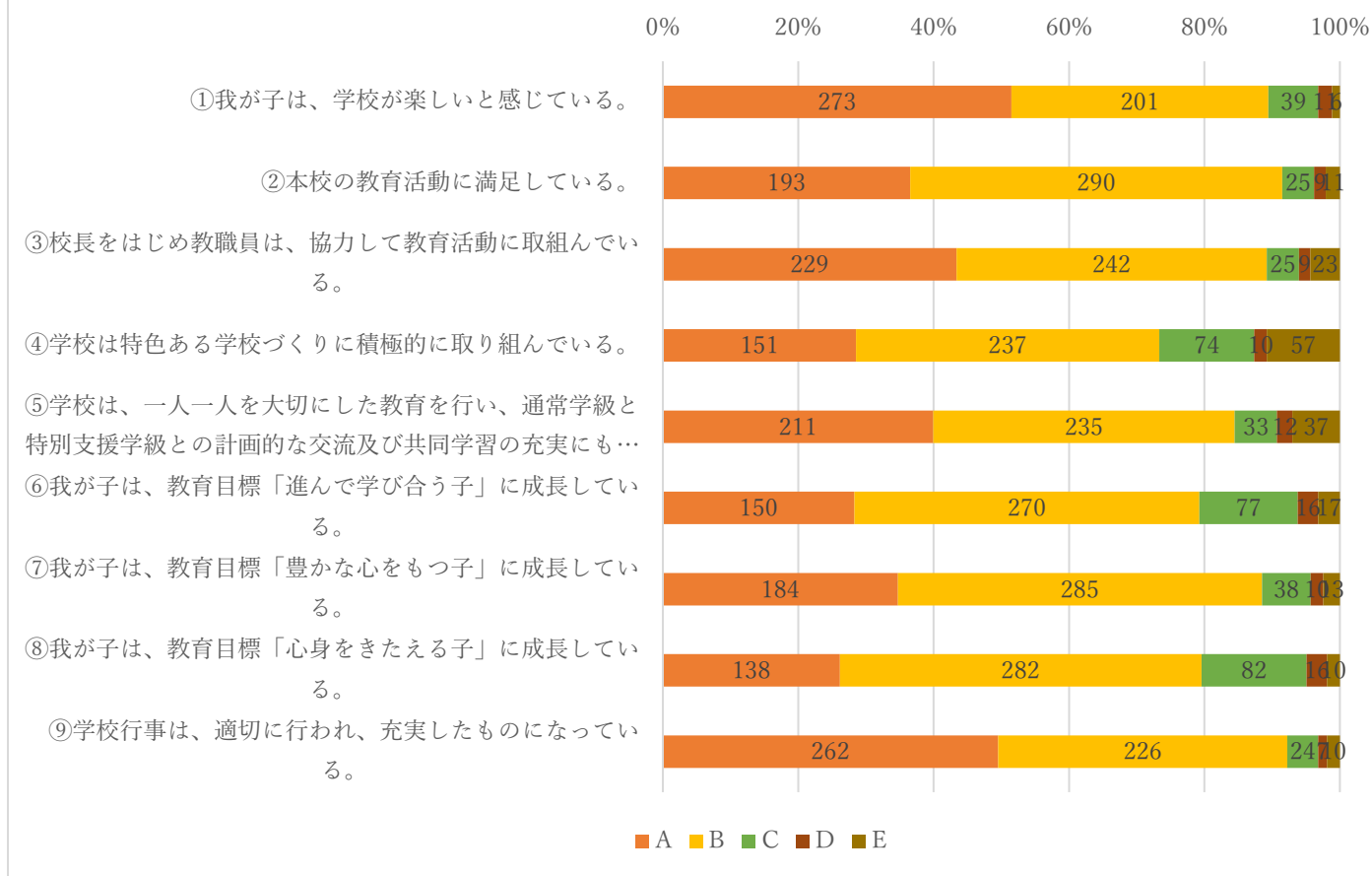
※実施期間 令和元年 11月 22日～11月 29日 回答 530/576 (回答率 92%)

1 学校運営・教育活動全般について

- ① 学校が楽しい ②教育活動に満足 ③教職員の協力 ④特色ある学校づくり ⑤特別支援教育・交流及び共同学習 ⑥進んで学び合う ⑦豊かな心をもつ ⑧心身を鍛える ⑨行事の充実

A よくあてはまる B おおむねあてはまる C あまりあてはまらない D 全くあてはまらない E わからない

1 学校運営・教育活動全般について



日頃より学校の教育活動によくご理解、ご協力をいただいております。感謝申し上げます。「1 学校運営・教育活動全般」の項目では、例年同様、概ねご満足いただいております。ご家庭が日々温かく学校の教育活動を見守ってくださっていることがうかがわれました。

①「学校が楽しい」②「教育活動に満足」では、多くの児童が小学校に日々気持ちよく登校していることがわかりました。「毎日ニコニコ登校してありがたいです」という声もいただいております。しかし、1割ほどのあてはまらない児童について、授業や日常生活での関わりを通じ、少しでも改善できるよう努めてまいります。また、いじめ等重大な事案の場合、学校全体で速やかに対応してまいります。③「教職員の協力」では、それぞれAB合わせて9割以上でした。

④「特色ある学校」では、具体的な特色が何かわからない、公立校なので特に特色を打ち出さなくてもよいのでは、というご意見もいただきました。本校ではひまわり学級と通常級の「なかよし会」や給食交流等の交流共同学習の推進や、課外の吹奏楽、たいさん木の広場をはじめとする学校と地域の協力等、多くの特色があります。どれも日常の教育活動として定着しているので、逆に特色と捉えにくいのかもかもしれません。今後も学校便り、学年便り等で様子を伝えていく努力をして情報の発信に努めてまいります。

⑤「特別支援教育」「交流及び共同学習」も多くのご家庭からご満足いただいている反面、「わからない」の回答が多い項目でした。「学びの教室」での取組や担任以外の講師等による授業支援による個別指導やひまわり学級との交流学习について、学校側からの情報発信に努めてまいります。

⑥「進んで学び合う子」では、今年度も8割の方が「概ねあてはまる」とのご回答でした。「当てはまらない」2割の児童について、ご家庭とも協力をしながら、学ぶ喜びや楽しさを実感できるよう、工夫を考えていきます。また全体として教室環境を整え、教員一人一人が学習指導に意識して取り組んでまいります。

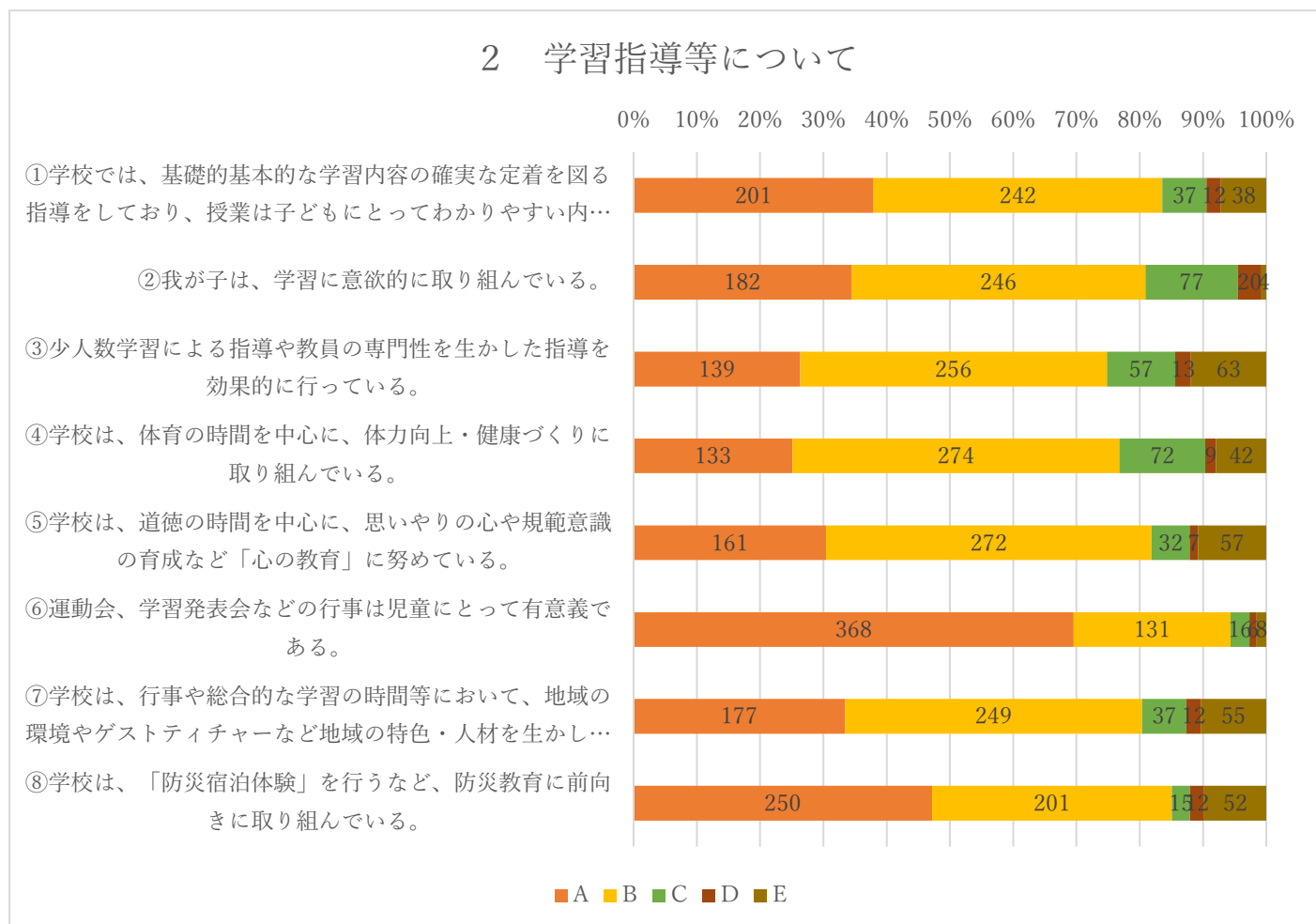
⑦「豊かな心をもつ子」は例年同様「概ねあてはまる」が9割程度でした。道徳をはじめとする心の教育や、日常生活での正しい価値判断力の育成を、ご家庭と協力して今後も行っていきます。

⑧「心身をきたえる子」もここ数年同様「概ねあてはまる」が8割でした。「児童数と場所の広さからして難しいかもしれませんが…」というご意見もいただいております。体育の授業で体を動かす時間の確保等行っていますが、課題として次年度も取り組みの工夫を考えていきます。「心」の方も道徳や学級活動を中心に、強くしなやかに育つよう尽力してまいります。

⑩「学校行事」では、「学習発表会で子供たちが楽しそうに頑張っている姿を見て、感動しました。」等のご感想をいただいております。行事の意義をご理解いただき、来年度も充実した行事を適切に行ってまいります。また、土曜授業参観について、回数のご質問をいただきました。土曜授業参観日は、文京区内の小学校全てで回数が規定されていて（今年度は6回）、それに沿って行っています。

2 学習指導等について

- ①わかりやすい授業 ②意欲的に学習 ③少人数・専科指導 ④体力向上・健康 ⑤心の教育
⑥有意義な行事 ⑦地域の特色・人材 ⑧防災教育 ⑨I C T機器の活用



- ① 「わかりやすい授業」では、肯定の評価が8割強でした。電子黒板の活用による視覚的で興味関心を引く授業、ユニバーサルデザインの視点をもったどの子どもがわかりやすい授業を目指して取り組んでまいりました。来年度も児童が主体的・対話的に学ぶ環境を整え、さらに指導の充実を目指して参ります。
- ② 「意欲」では、8割が肯定の意見でした。上記のわかりやすい授業を目指す中で、一人一台使えるタブレットを活用するなどして、子ども達の興味・関心や意欲を引き出ししていきたいと考えます。1割強の「あまりあてはまらない」子ども達の実態を把握し、児童理解に務め、教員間でより良い授業について指導法を学び合い、授業力の向上を目指します。
- ③ 「少人数や専科」につきましては、7割弱が肯定の反面、Cの「あまりあてはまらない」が1割、Eの「わからない」が1割強ありました。来年度も学年と少人数担当教員で打ち合わせを密にし、児童の進捗や理解にあった授業を工夫し、授業参観等で様子をお知らせしていきたいと思ひます。

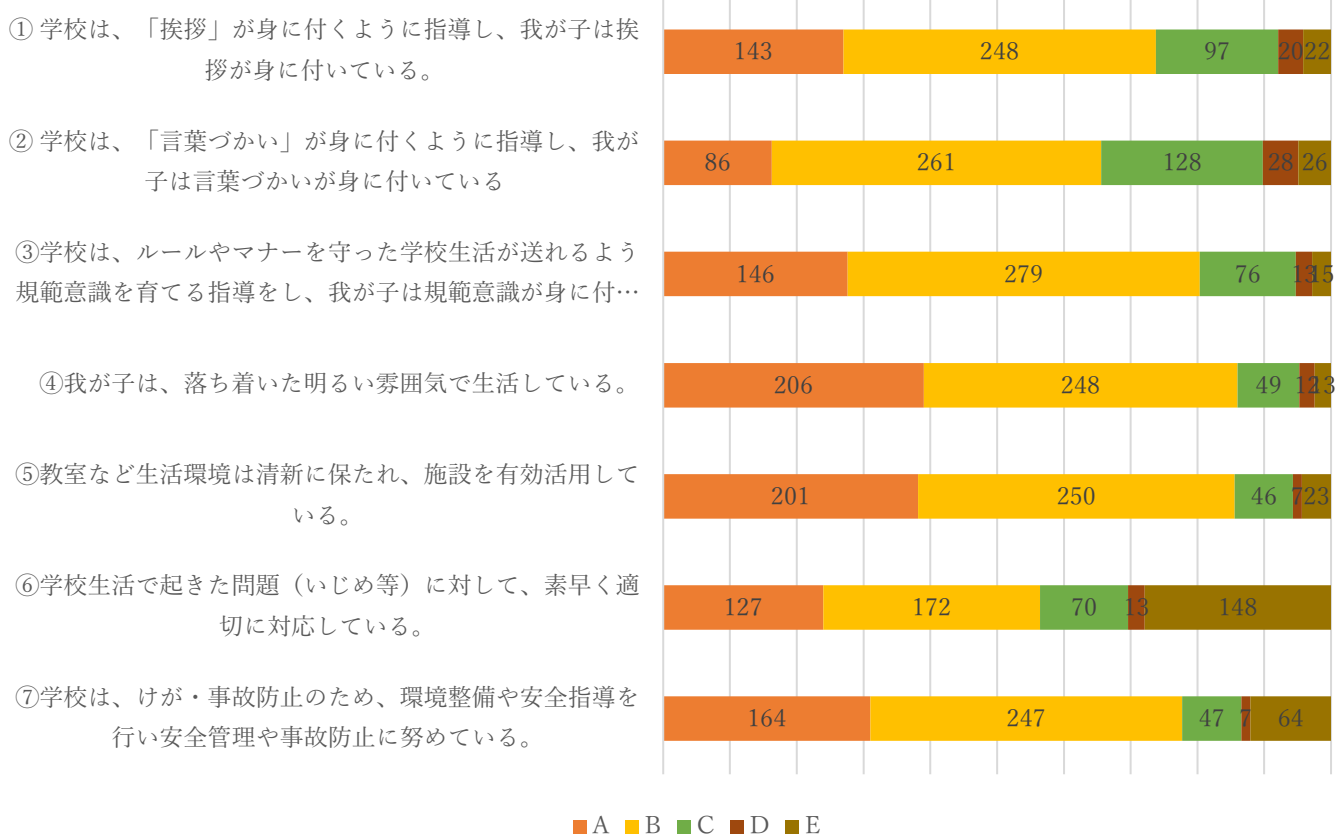
- ④ 「体力向上・健康づくり」では7割を超える肯定評価をいただきました。現在は、学校壁工事のため、校庭が狭くなってはいますが、安全に気を付けながら外遊びを励行しています。マラソン月間では、マラソンカードなどで意欲を高めるなど、今後も全校での取組を進めて参ります。
- ⑤ 「心の教育」は肯定評価が8割を超えました。教科となった道徳の時間を中心に、学習が机上で終わらないよう、実践として身に付くよう指導して参りました。来年度もさらに心の教育を進めると共に、人権教育に取り組んできたその芽を育てて参ります。
- ⑥ 「有意義な行事」は昨年同様肯定が高く、特に今年度は10割に近い結果でした。保護者の皆さまに認めていただいている取組を、今後もより一層充実したものとなるよう、努めて参ります。
- ⑦ 「ゲストティーチャー」も8割の肯定でした。「E わからない」の回答も1割弱ありましたので、保護者の皆様にご理解いただけるよう発信していきます。
- ⑧ 防災教育については、学校支援地域本部のご協力を受け、毎年4年生は、防災宿泊体験をして、成果を挙げています。来年度も実施します。6年生の魚沼移動教室でも、防災教育に関連した活動がありますので、今後も子ども達の目線で持続していける活動にしていきたいと思ひます。

3 生活指導等について

- ①挨拶 ②言葉づかい ③規範意識 ④落ち着き ⑤生活環境 ⑥いじめ等の対応
⑦安全管理

3 生活指導等

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



3 生活指導等について

① あいさつ ②言葉遣い ③規範意識 ④落ち着き ⑤生活環境 ⑥いじめ等の対応 ⑦安全管理

① の「あいさつ」について、A「よくあてはまる」、B「おおむねあてはまる」を合わせて75パーセントの評価をいただきました。これは29、30年度と比べると評価が下がっており、教職員の中でも実感として課題であると感じている事柄です。特に「自分から進んで挨拶をする」ことが難しく、朝の挨拶運動などを例に様々な場面で指導しております。3学期に入り改善されている様子もありますので、良くなっていることを児童に伝えていきます。「いつでも、どこでも、だれとでも」を目指し、今後も全学級で必ずあいさつについて指導をしていきます。挨拶の日常化について、ご家庭でも引き続きご協力をお願いいたします。

② の「言葉遣い」について昨年同様、C「あまりあてはまらない。」が2割5分との評価をいただきました。保護者の皆様も学校も、引き続き指導が必要だと強く感じている項目です。林町小学校では、生活指導の重点目標を「相手の気持ちを考えた正しい言葉づかい」としています。言葉遣いや書字には情緒の安定が不可欠です。ご家庭でも重点目標を意識して、より良い言語環境を作ってくださいようお願い致します。

① 「あいさつ」と②の「言葉づかい」では、C「あまりあてはまらない」D「全くあてはまらない」の数値が他の項目に比べ、高い数値でした。この結果をしっかりと受け止め、次年度の指導に生かしていきます。

③ 規範意識はA、B合わせて8割、④落ち着きについても8割5分と昨年度とほぼ同程度の評価をいただきました。学校では、廊下の歩行、思いやりのある態度などの点で指導の必要性を感じており、引き続き、丁寧に指導を重ねてまいります。

⑤ 生活環境はA、B合わせて8割5分と高い評価をいただきました。より良い環境が整えられた果と考えております。これからも清新に保たれた、学習しやすい環境を意識し、各教室の担当者が整えて参りたいと思います。

⑥ いじめ等の対応について、素早く適切に対応しているとの評価をいただけるよう、心のアンケート（年3回）、ふれあい月間、道徳、いのちと心の授業などを引き続き行い、いじめのない学校を目指し、力を尽くしていきます。

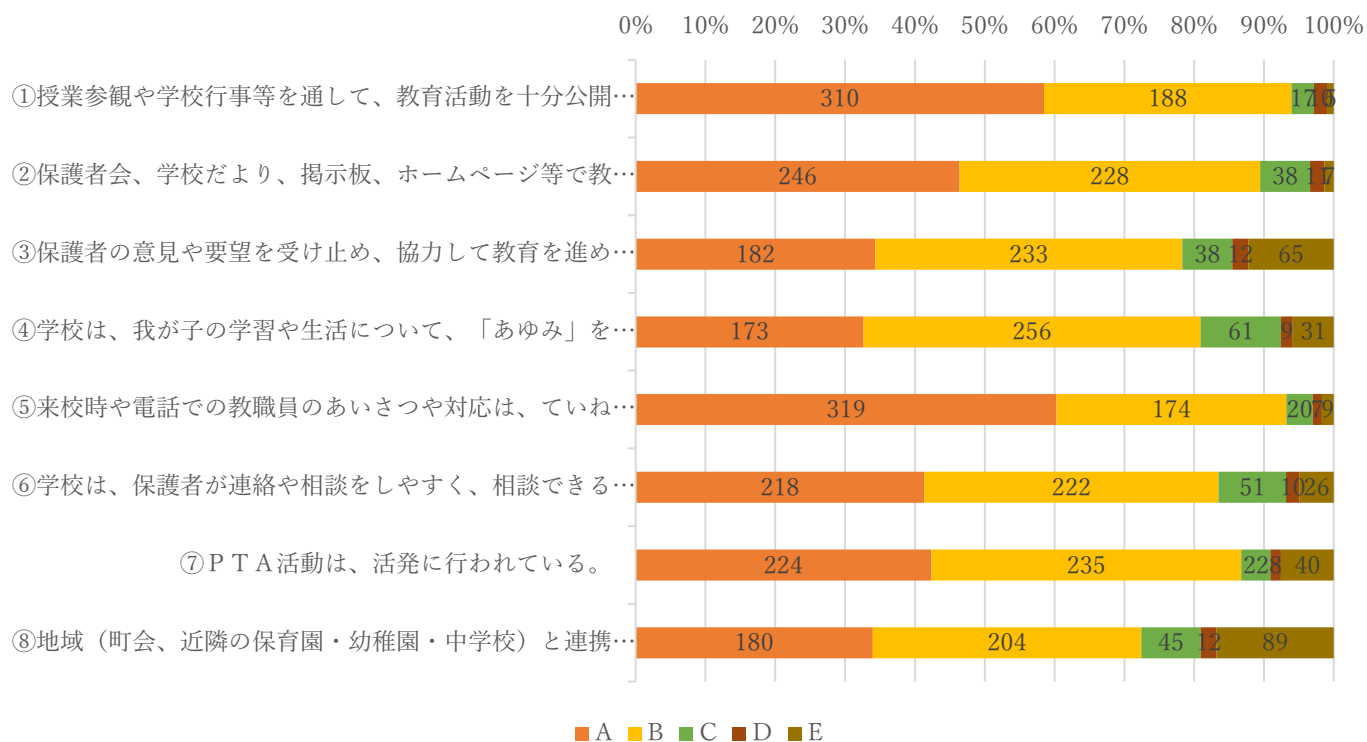
ご家庭はもちろん、スクールカウンセラーや諸機関と連携し、相談しやすい環境づくりにも努めていきたいと思っています。

⑦ 安全管理についてA、Bを合わせて約8割との評価をいただきました。これからも、毎月安全点検を行い、安全管理に努めて参ります。特に登下校時の安全については、今後も注意喚起を行い、地域や家庭と連携して進めていきます。

4 保護者・地域との連携、その他について

- ①教育活動の公開 ②情報発信 ③意見の受け止め ④あゆみの工夫 ⑤教職員の対応
⑥相談体制 ⑦PTA活動 ⑧地域との連携

4 保護者、地域との連携・その他



①「教育活動の公開」については、A「よくあてはまる」B「おおむねあてはまる」を合わせて9割以上になり、運動会や学習発表会等の行事の実績を高く評価していただきました。また、保護者会は土曜日に設定することに賛同のご意見をいただきました。今後も公開日の内容を工夫して取り組んで参ります。

②「情報発信」についても、A・B合わせて9割の評価をいただきました。「お知らせのペーパーレス化が進むと良い」とのご意見もありましたので、ホームページの積極的な活用を含め、より効果的な方法を模索して参ります。また、保護者会や学級便り等で児童の様子をさらに具体的にお伝えできるよう一層努めて参ります。

③「意見の受け止め」は、A・B合わせて8割の評価をいただきました。一方、児童の生活態度や挨拶の仕方については、学校と家庭が協力して指導していかなければならないとのご意見がありました。真摯に受け止め、保護者の方とさらに共通理解を深められるよう連携を進めて参ります。

④「あゆみの工夫」も、A・B合わせて8割の評価をいただいています。学校での様子を分かりやすく伝えられるよう引き続き工夫して参ります。

⑤「教職員の対応」については、A・B合わせて今年度も9割以上の評価をいただきました。電話対応の際、教職員の氏名を名乗るなど、丁寧かつ適切な対応を徹底し、児童・保護者・地域の皆様との良好な関係を継続できるよう努めて参ります。

⑥「相談体制」については、8割以上の評価をいただきました。担任・学年主任をはじめ、校長・副校長・養護教諭（保健）・専科教員など、多面的に対応いたします。また、ご相談の内容に応じて、スクールカウンセラーも対応して参りますので、ご遠慮なくお申し出ください。

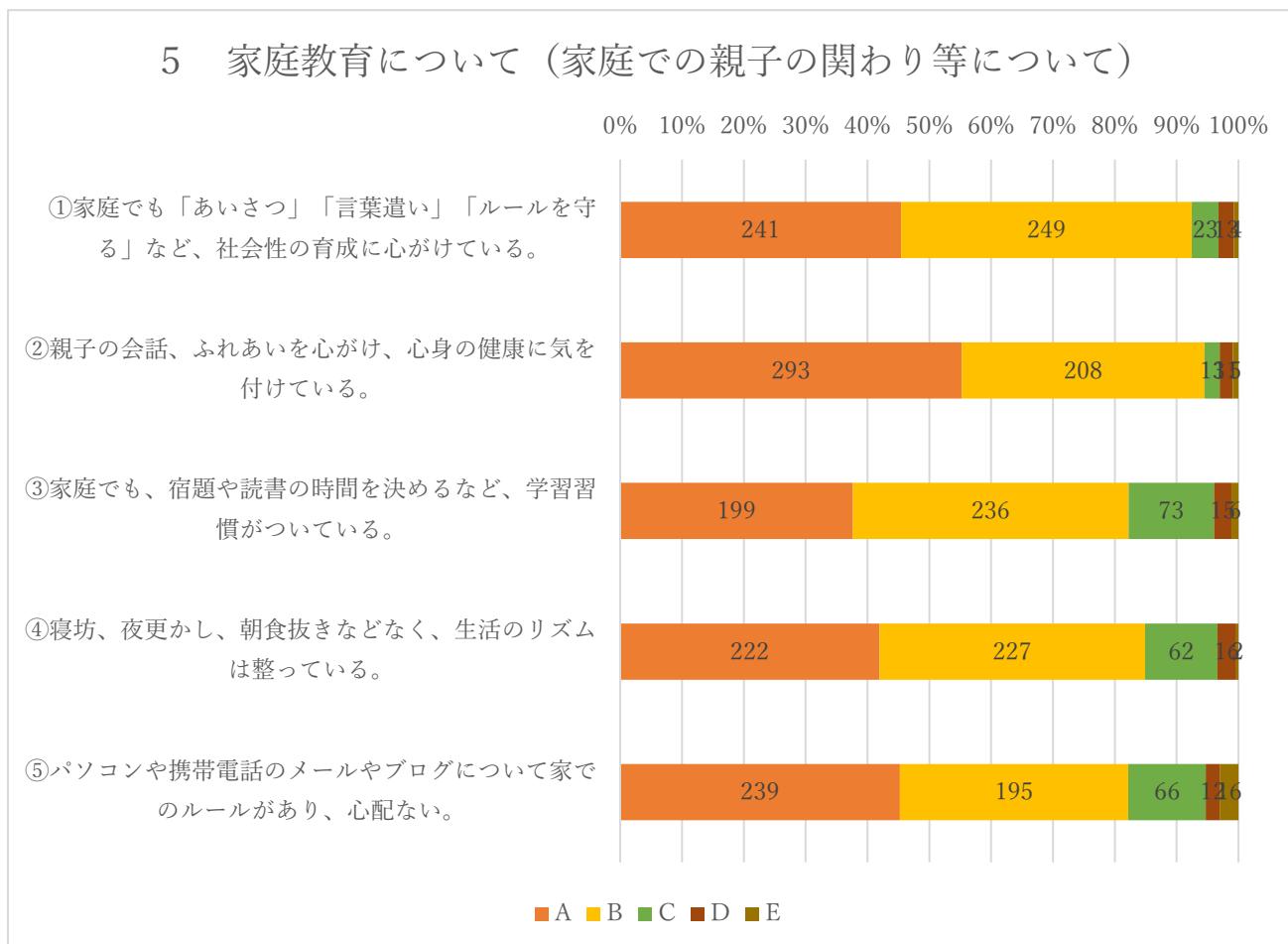
⑦「PTA活動」は、A・B合わせて9割近い評価をいただきました。本部役員の方々にも、運営の仕方について、毎年検討を重ねていただいております。日頃の多大なご協力に感謝申し上げます。

⑧「地域との連携」では、A・B合わせて7割程度の評価でした。E「わからない」が昨年より増えています。学校便り等で紹介しておりますように、本校は地域の方々の協力が非常に大きな学校となっていますので、学校支援地域本部の方々をはじめ、地域の皆様とのふれあいを大切に、今後もより良好な関係を築いて参ります。保幼小中の連携につきましても、子供たちにとってより良い学びの場となるよう連携して参ります。

また、スクールガードや図書ボランティアの方々の活動により、児童の安全や豊かな心の育成にご協力いただき、心より感謝申し上げます。

5 家庭教育について（家庭での親子の関わり等について）

- ①しつけ ②親子のふれあい ③学習習慣 ④生活リズム ⑤携帯等のルール



A・B合わせて、①②は9割以上、③④⑤は8割程度の高評価が出ています。生活態度、ルールの遵守、親子の会話など、ご家庭でも日常的にご指導いただいていることがうかがえ、家庭教育への関心の高さを感じます。引き続き、子供たちの社会性を育むため、ご家庭でのしつけやふれあいの時間を大切にさせていただきますようよろしくお願いいたします。

一方、③④⑤においては、C「あまりあてはまらない」の割合が多くなっており、学習時間の確保、生活リズムの徹底、携帯電話（スマートフォン等）の利用について、ご家庭での指導の難しさが表れています。学校においても、日常生活の指導に加え、セーフティ教室の内容を精選するなど、より良い生活習慣が身に付くよう指導を重ねて参ります。ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。